

## B分科会「環境共生住宅」参加者のコメント

これらの建物が残っていることに感謝

聴竹居内を実際に見れて良かったです。細かいとことまでこっていて感動しました。

聴竹居・・・日本の環境に合う。日本の住宅。感銘を受けました。

管理体制ができていることが嬉しく思います。DVDの販売やお弁当等運営費をまかなうこともとても大事と思いました。

聴竹居、以前テレビで見て実物を見たかったので実現できてよかった。

聴竹居、ガイドの方の説明がとても良く感心するばかりでした。思いをつくして家を建て生活する。とてもぜいたくなことですね。おべんとう美味でした。ガイドさん（森本さん）最後の語りが良かったです。

環境と共生することの重要性は今も同じ（今後強くなる。）見直すことが大事だと思います。

共生住宅 全てのところに、細かな配慮。ふだん見のがしてしまいがちな「こうあったら」が家具・建具・丁番・取手・・・とにかくいいい勉強になりました。又、家族中心の家 は一人一人の居場所があり、ある時は完全に一人で、ある時は皆一緒 理想とする間取り、空間にただ共感です。今住宅から自然換気 設備換気 機会性能にたよった、たよることが当然になっていて - 今この時代にこの住宅が世にもっと出て、「問いかけ！！」て欲しい。このような住宅の保存活動に感謝です。応援していきたいです。

聴竹居の縁側の構造を支えている梁の断面図があれば頂きたいです。

昭和3年にメーターモジュールで建ててある事がすごい。

住まいでその国の建築がわかるというのが、今の日本の住宅はどうだろう。聴竹居は日本の住まい方を考えた今に通じるスタイルの原型と思った。

聴竹居、現代にも通用するパッシブデザイン、地域似合ったデザインを考える大切さを痛感しました。

微細な工法があちこち全体に渡って見られて感動です。今は既製の部品に頼ってそれらの寄せ集めで住宅を設計したものになっているのが恥ずかしくなります。アクティブではなく、パッシブな工法をもっとやっていきたいと思いました。

細やかな生活をよく考えられた使い勝手のよさが参考になりました。

聴竹居の細部にわたる工夫に感動しました。パツツブな考え方から収納、金具の一つ一つまで、このコースに参加して本当によかった！

ゾーニングが現代にも異和感なく通じる（理屈がわかる）

聴竹居、ディテール細部のこだわりで感心しました。

聴竹居、生活が素直に美しくデザインされる空間、バランスの良さ。

聴竹居を見学して細部までにこだわったデザインにすごく勉強になりました。

聴竹居の隅々までいき届いた細かいディテールがすばらしい

聴竹居の各部のデザインが大変面白くとても勉強になりました。

ひとつひとつ細部まで考えられた設計こだわりに驚愕です。

80 年以上前の建物だが現代の省エネルギー対策に取り入れられる内容が多く、勉強させていただきました。

機能性とデザイン性の融合を感じさせていただきました。

1930 年代の建物がきちんと残されていることにありがたさを感じます。建物に対する深い感情に改めて忘れかけている自分の思い入れを考えてみようと思います。スタッフの皆様ありがとうございました。

昭和 3 年に今に通じるデザインと環境共生を考えられたセンスがすばらしかった。今の設計にも通じるディテールは圧巻でした。

環境の配慮へのこだわり、80 年前にここまで考えられていたのか、驚きです。

住んでみたい！四季を感じてみたいと思いました。

聴竹居、ここで暮らしたいです。縁側から四季の移り変わりをながめ、天井や壁に写る光の移動を追ってみたいです。時々、京の町や待庵へ出かける。・・・夢のような場所、居住区ですね。ありがとうございました。

待庵、日本の貴重な財産大切に保管する方がいて下さることに感謝の気持ちです。

愛妻家だったかな？子供たちにこの家のことを話しただろうか？

藤井厚二先生は海外や日本の古い家を見たり訪ねたりしたのだろうか？

住まいは生活と家族の幸せを考えて工夫する喜びがあります。それをすでに昭和 3 年に実践してくださった藤井先生に感謝します。

聴竹居があそこまで女性に気を使ってあるのにおどろきました。女性に優しい方だったのか何かあったかなと思いました。

聴竹居、沢山の事を学ばせて頂きました。自然、人のつながり！

聴竹居、これでもかというような工夫こだわり満載！これからでもマネできそうなことが沢山

聴竹居、建築的工夫と最新技術のムリさ加減、家族のあり方、いろいろ考えさせられました。

『聴竹居』の工夫がすばらしかった自然と人間のことがよく考えられていた。

聴竹居、見学長年の夢でした。倍率高いのに第一希望が見れてとても嬉しいです。理想、創意工夫されつくした最高の住宅感服しました。また女性にやさしい配慮をほどこした設計も素晴らしいと思いました。もう一度はじめから一箇所一箇所映像で見直したい思いです。ありはありがとうございました。

聴竹居、百聞は一見にしかず・・・実物を見、実感することができました。本を見てこんなガラスだらけで絶対に寒いと思っていましたが、説明を聞いて良く理解できました。昭和 3 年築、84 年前（？）そんな時代にこのような素晴らしい和と洋のバランスのよい

建物を作られたことに感動しました。

機能をデザインがうまく合わさっていて感動しました。機能を感じさせない工夫がたくさんあり、勉強になりました。

畳の時代からイスの生活を見込んで高さを考えて建てられている所が良いと思いました。素晴らしいです。

建物の向きを東南 45° 頃に向けてどこからでも南の日が入る設計になっている。日当たりを考えられた良い設計で参考になりました。

聴竹居のリビングでいただいた暖かくておいしいお弁当は最高です！リビングの高い天井からあじろ天井の広縁へのアプローチ、心なごむ空間でした。京都建築士会の方々のおもてなしは今でも私の心をとらえました。ありはとうございます。

聴竹居の、日本のおもてなし感の洋と和のゆう合が良かった。自然との共生が、また現代的な居間中心のバランスが良かったし、家具（造りつけ）がとてもオシャレでした。どの部屋もデザインされたこち良さがありました。

フランクロイド・ライトもほうふつさせる窓のデザイン、聴竹居

今はあまり見られない職人さんのワザが素晴らしい。

藤井さんの日本文化を大事にされた実験住宅のあり方に共感、建築基準法や省エネ法、で全国統一した仕様とするよりは、地域性に合わせた解決方法を取り入れられる仕組みづくりが大事だと感じました。自分の住んでいる地域でも実験住宅をつくってみたいと思った。

聴竹居の構造やデザインに学ぶところが多かった。

日本的な住まいの工夫、デザイン、思想、たくさん勉強させていただきました。ありがとうございました。

環境共生という点でたくさん見習いたい所があった。

住まい方の工夫をどこか一ヶ所でも考え、キセイ品ではないよさを出していきたいです。

環境と共生する思想を今後のしごとに生かしたいと思いました。

計算しつくされた住宅なので、マネできる所はマネして自分の家を建ててみたい。